



スイス再保険 初の官民長寿保障取引を締結 英国の地方自治体年金基金に長寿リスクのカバーを提供

本件に関するお問い合わせ

スイス再保険会社 日本支店
コーポレートコミュニケーションズ
横田 真紀

Tel 03 3272 4888
Fax 03 3271 0990
www.swissre.com

ロンドン、2009年12月15日ースイス再保険会社(以下、スイス・リー)は、年金基金との間で初の長寿保障取引を締結しました。本取引により、スイス・リーは英国のロイヤル・カウンティー・オブ・パークシャー・ペンション・ファンド(RBPF)へ、年金債務17億スイス・フランの長寿リスクに伴う不確実性に対する保障を提供します。

スイス・リーの生命・医療再保険部門の責任者、クリスチャン・ムメンターは次のように述べています。「このたび革新的な取引を発表することができ、大変誇りに感じております。今回の取引が当社にとって初の年金基金のための長寿保障取引であるばかりでなく、行政団体との純粋な長寿リスク移転取引としては、世界初でもあるためです」

この長寿保障契約は、RBPFの年金受給者の長寿リスクを直接の保険協約により移転するものです。2009年7月31日の時点で支払いが開始されていた1万1,000件の年金を対象とし、その年金債務額はおよそ17億スイス・フランに上ります。

RBPF年金基金は、定期的に既定の保険料をスイス・リーに支払い、スイス・リーは年金加入者に対して実際の「変動」年金額を保障します。この金額は加入者が何歳まで生きるかによって異なります。すなわち、RBPFは年金受給者に対して年金の支払いを継続しますが、将来、不確実な長寿リスクによってその額が変動した際には、その偏差部分はスイス・リーが負担します。RBPFは、その資産の法的所有権および投資戦略の決定権を留保します。

スイス・リー側で本取引を主導したコスタス・イアスミは次のように述べています。「当社の長寿キャパシティーを年金制度に対して直接提供するための活動を拡大してまもなく、このような初の年金取引を完了できたことを非常に喜ばしく思います。これにより、当社がお客様である保険会社のために創り上げてきた実績あるソリューションを職域年金にも適用できるということが実証されました」

長寿:スイス・リーの成長ビジネス

延び続ける寿命により、長寿リスクは社会が直面する最も重要な課題のひとつとなっています。リスクに対する認識の高まりとともに、年金基

金および生命保険会社からの再保険ニーズは拡大しています。一方、民間セクターが提供する長寿リスク保障は十分ではありません。

クリスチャン・ムメンタラーは次のように述べています。「これは、生命・医療再保険分野のマーケット・リーダーである当社にとって、大きなビジネス機会であるといえます。現在当社では、長寿リスクに伴う不確実性のより良い管理に向けて、官民両セクターのための長寿ソリューションの開発を行っています」

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界をリードする再保険会社です。当社は世界 20 か国以上で事業拠点を展開しています。1863 年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にする金融商品を提供しています。伝統的な再保険商品と損害および生命・医療保険関連サービスは、包括的なリスク管理のための保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその付加サービスによって補完されています。スイス・リーはスタンダード&プアーズから「A+」、ムーディーズから「A1」、A.M. Best から「A」の格付けを取得しています。

ロイヤル・カウンティ・オブ・バークシャー・ペンション・ファンド(RBPF)

ロイヤル・カウンティ・オブ・バークシャー・ペンション・ファンド(RBPF: Royal County of Berkshire Pension Fund)は、地方自治体年金制度(LGPS: Local Government Pension Scheme)の一部であり、6名の単一自治体雇用主およびその他 100名の雇用主に代わり、「Royal Borough of Windsor and Maidenhead (RBWM)」により管轄されています。

17 億スイス・フランの年金債務

これは、スイス・リーの経済価値指標(EVM)を用いて測定された、2009年7月31日の時点で、保険証券によってカバーされている推定年金債務額です。EVMに基づくキャッシュフローは、リスクフリーレートを用いて割り引かれています。またこの金額は現在の英ポンドからスイス・フランへの為替レートを考慮して計算されています。

RBWMによる安定した長期の年金財政コストを測定するために、アクチュアリーにより推奨された長期予測に焦点を置いたアプローチを用いて、年金制度債務は3年に一度評価されます。この予測は、2007年に行なわれた3年に一度のファンド評価の結果である、年金債務、約7億5,000万ポンドの評価と合致します。